

デーリー東北

2026年(令和8年)9月5日(土曜日) (10)

个性的作品 じっくりと 赤坂厳さん初の個展 市美術館で7日まで

八戸

八戸工業大感性デザイン学科研究生の赤坂厳さんによる初の個展「あたまたちの外と話す」が、八戸市美術館

で開かれ、じっくり向き合いたくなる个性的な作品が来場者を楽しませている。7日まで。同市出身の赤坂さんは東京造形大を卒業し、1年間、八戸工業

大で研究生として、制作活動をしながら学生の指導を行っている。

油彩画を中心に約10作品展示。「父親」は、若い頃の父親をキャンバスの布に描いた大作で、社会の中の父と、よく知る身近な存在としての父の二面的な部分を表現した。

他にも、コンビニの外国人従業員の絵に聖書の一節を重ねた「あの地へ行くため」、顔を描いた紙袋が人との対話を試みる映像作品「反芻」など、他者との関係性や現代社会の複雑さについて考えさせられる作品が並ぶ。入場無料。時間は午前10時～午後4時。

(松浦大輔)
※デジタル版に作品ピックアップ

初の個展を開いている赤坂厳さん

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。